

# (仮称) 札幌博物館展示・事業基本計画【概要版①】

## 1. 計画の目的

- (背景)
- 平成10年の『札幌市博物館基本計画(提言)』を受け、平成13年に策定した『札幌市博物館計画推進方針』に基づき博物館活動センターを開設し、活動を継続
  - 平成26年度にこれまでの活動成果や課題を踏まえ、『(仮称)札幌博物館基本計画』を策定

- (計画の目的)
- 『(仮称)札幌博物館基本計画』に基づき、市民とともに札幌の自然と人との関わりを探求し、札幌の未来に貢献する博物館を創り上げるための「博物館における具体的な展示や事業に関する考え方」を整理し、その方向性を定め、博物館整備を計画的に進める

## 2. (仮称)札幌博物館設置に向けての基本的な考え方

### ① (仮称)札幌博物館が今必要な理由

- 札幌には北海道博物館や北海道大学総合博物館があるが、札幌に焦点を当てた博物館はない。⇒札幌市民が郷土の自然・歴史・文化についてより深く学び、札幌を訪れた方にその魅力を十分に伝える場が必要。

### ② (仮称)札幌博物館の使命

- 使命1：札幌市民としての郷土への愛着と誇りを育む
- 使命2：創造性あふれる人材の育成
- 使命3：自然と人の観点からまちづくりに貢献

### ③ 求められる博物館像と、その基本テーマ・領域と特徴

### より効果的に学び体験ができる (仮称) 札幌博物館

- 地域に目を向け、関心を持つことで、札幌への愛着を深めることができる。
- 博物館での学びは、札幌を知りその良さを深めたいという欲求につながり、地域環境の持続可能性や生物多様性の保全とその恵みを持続可能な形で利用するなど、地域づくりに結びつける。

基本テーマ「北・その自然と人」のもと、市民みんなで札幌の「自然と人の関わり」を探求し、札幌の未来に向けて進化・発展し続ける博物館

領域 石狩低地帯形成の1億3千万年

特徴 自然史の視点から札幌の自然、歴史、文化を明らかにする「自然史系博物館」

## 3. 札幌市博物館活動センターの活動と成果

札幌市博物館活動センターでは、調査・研究や資料の収集・保存、普及・交流事業など、展示と市民活動等を中心とするソフト事業重視の活動を行ってきました。

- 調査・研究…サッポロカイギュウ化石・小金湯産クジラ化石、希少植物調査など
- 収集・保存…札幌の自然と人の関わりを探求するための基礎的資料9万点以上
- 普及・交流…体験学習会やサイエンス・フォーラム、ミュージアム発行など

## 4. 博物館事業の概要

- 基本テーマのもと札幌の自然・歴史・文化を実感する「本物」の迫力や魅力を伝える。
- 館の使命と役割を明確にし、活動の地域とテーマを、札幌と石狩低地帯を中心に絞ることに伴って、施設設備、人員を限定する。
- 同時に自然史の分野に重点を置くことにより他館との差別化を図る。

### ① 事業活動の構造と活動内容

(仮称)札幌博物館の柱となる下記の3つの事業を相互に関連させながら事業を展開します。

#### 感動伝達事業

##### 展示

- ・総合展示 ・企画展示
- ・展示見学支援 など

##### 学習支援

- ・学習支援 ・学習プログラムの提供
- ・学校との連携 など

#### 地域課題解決事業

##### 資料収集・保存

- ・体系的な資料収集 ・資料の保存、管理
- ・情報提供(レファレンス) など

##### 調査・研究

- ・調査、研究 ・研究成果の発信、公開
- ・研究交流 など

#### つながり創出事業

##### つどい・交流

- ・市民活動の場の提供
- ・情報発信の場の提供
- ・交流・サービスの場の提供 など

##### 人材育成

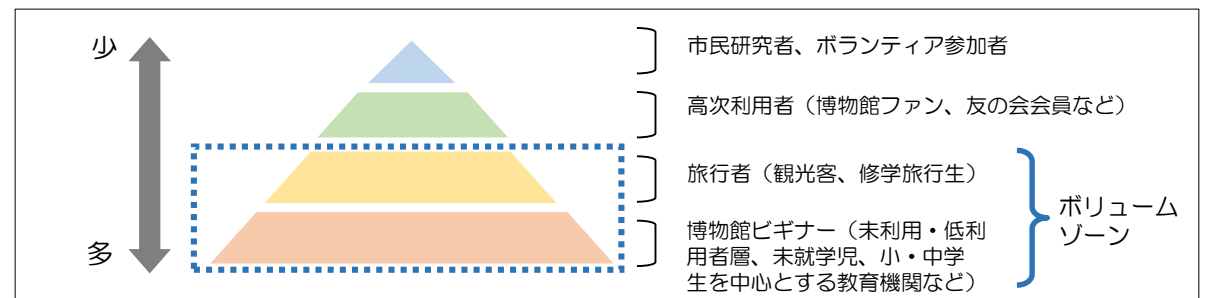
- ・市民の自主活動の育成・連携
- ・後援団体との連携
- ・協働などの体制づくり など

##### まちなか連携

- ・web上での情報発信
- ・出張博物館の展開
- ・市内各地のフィールドにおける連携の展開 など

### ② ボリュームゾーンの考え方と対応

(仮称)札幌博物館の主要な来館者層「ボリュームゾーン」は下記を想定します。



多くの人々が足を運ぶ施設とするため、子どもを中心とする博物館の低・未利用者と札幌市を訪れる観光者を主たるボリュームゾーンと捉え、その来館意欲に働きかける展示や事業を構築します。

# (仮称) 札幌博物館展示・事業基本計画【概要版②】

## 5. 展示の基本的な考え方

- 現在の札幌の自然と街を育んだ経緯について、生命と自然がたどった「今の自分」につながる壮大な物語を驚きと感動を持って実感させる。
- 現在の札幌が生まれた背景に、大きく関わる「自然」の「なぜ？」を探り、今日の札幌がある理由を知ることができる。
- 導入展示から3つのテーマ別展示へは、博物館が導線を定めることなく、来館者の興味関心や滞在時間に合わせて自由に選択することができる。

「札幌の自然に隠された謎と  
その秘密！」に迫る展示構成

## 6. 各展示の概要

### (1) 導入展示 北緯43°の街

キーワード **札幌を学び楽しむヒント**

- 博物館のガイダンスと札幌を学び楽しむヒントを提示
- ポリウムゾーン層も一目で「札幌らしさ」や、札幌の魅力を理解できる展示



### (2) テーマⅠ 札幌の生命と進化

キーワード **札幌の巨大化石**

- 北海道・札幌の成り立ちから生物巨大化の謎に迫る。札幌の巨大生物サッポロカイギュウ・小金湯産クジラと、他の巨大生物を併せて展示



### (3) テーマⅡ 札幌の自然

キーワード **北と南が出会う街**

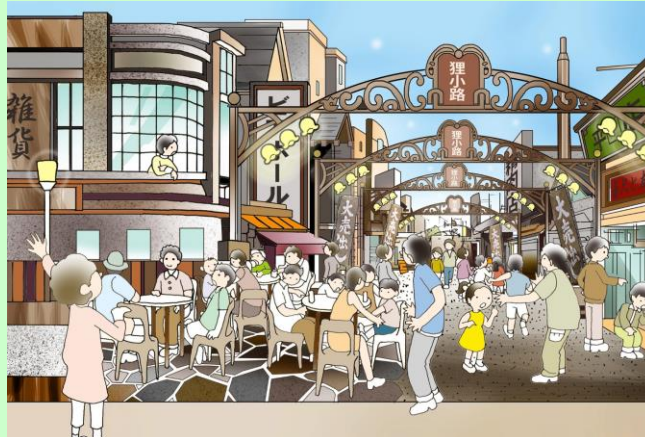
- 人々から愛される札幌独自の魅力的な自然を、その成り立ちから謎に迫る。石狩低地帯の植生を展示し、札幌が生物の南北移動の交差点となったことが分かる展示



### (4) テーマⅢ 札幌の街と人

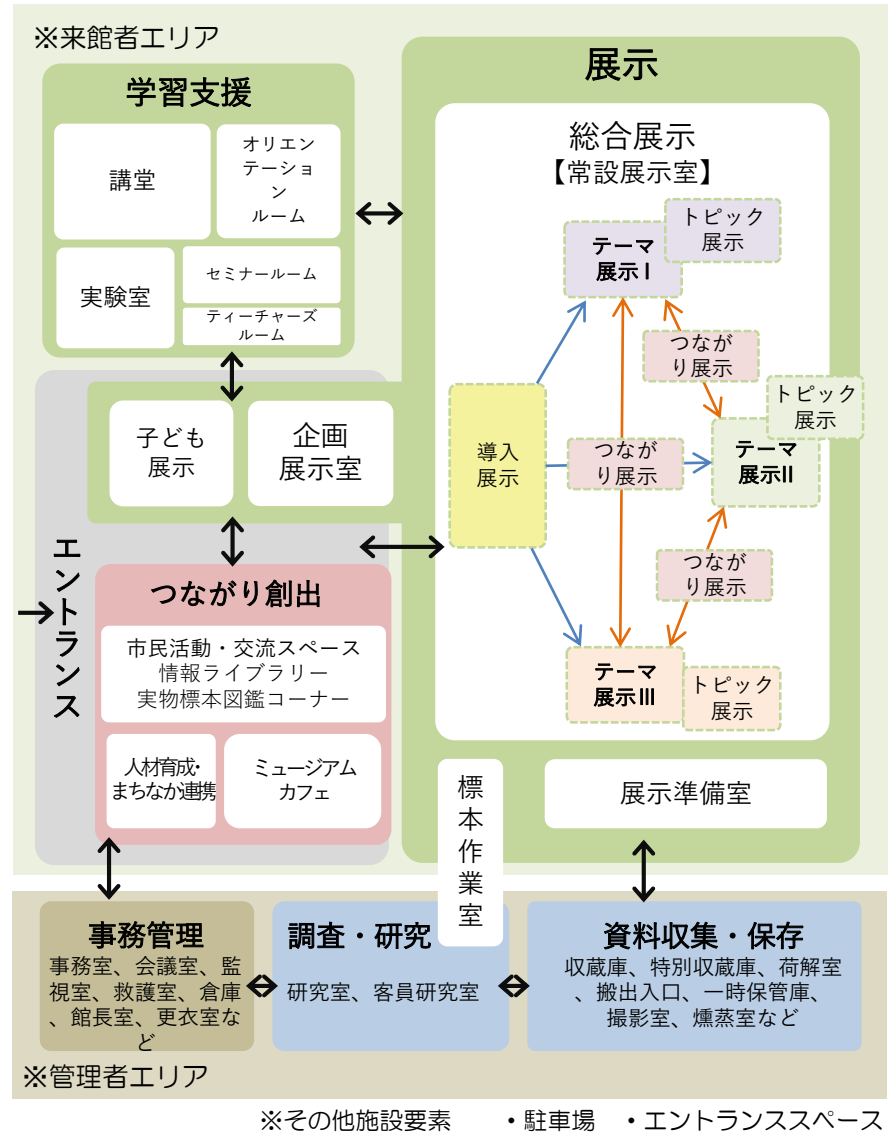
キーワード **150年で200万都市**

- 自然と街と人を通して大都市札幌誕生の秘密とその謎に迫る。昭和期の札幌中心市街地を実物大に復原展示し、タイムスリップした感覚を楽しめる展示



## 7. 想定される諸室機能

来館者エリア・管理者エリア、無料・有料ゾーンの区分など、主動線から諸機能にアクセスしやすく、関連する機能を近づける工夫をし、利用しやすく、無駄のない配置を検討します。



(仮称) 札幌博物館の延床面積については、(仮称) 札幌博物館基本計画で示した10,000~17,000㎡の範囲で、展示物等収容可能であると推定されます。具体的な諸室構成、面積などの詳細については、整備基本計画で検討を進めます。